

連合「なんでも労働相談ダイヤル」(☎ 120-154-052)
2017年9月 相談集計報告

○全体の特徴

■前年同月同様、1,000件を超える労働相談が寄せられた。年代別では40代(33.2%)、30代(21.4%)、50代(20.7%)の順で相談が多く、3つの年代で全体の75.3%を占めている。

■業種別では、上位5位までが前年とまったく同じ順位となり、「サービス業」(20.2%)、「医療・福祉」(18.1%)、「製造業」(17.1%)で件数・割合ともに増加している。相談内容では、「セクハラ・パワハラ・嫌がらせ」(14.5%)が7ヵ月連続で最も多く、次いで「解雇・退職強要・契約打切」(9.6%)、「雇用契約・就業規則」(8.4%)となっている。また、相談における情報源・ルートについては、ホームページとの回答が半数を占めている。

■具体的な相談では、「上司や同僚から日常的にパワハラ受け、退職を申し出たが受け取ってもらえない。」「辞めたいと会社に伝えたところ『代わりの労働者を探さないと認められない』と言われた」など、パワハラ・嫌がらせとともに、辞めたいのに辞められないといった退職に関するトラブルが散見された。

		2017年		2016年			
集計対象期間		9月1日～9月30日		9月1日～9月30日			
受付件数(受付件数のみ報告分含)		1,017		1,042			
報告(本部・地方)数		48		48			
項目	内容	件数	割合	内容	件数	割合	
性別 (未報告除く)	男性	527	51.8%	男性	579	55.6%	
	女性	490	48.1%	女性	463	44.4%	
年代 (不明除く)	10代	4	0.5%	10代	7	0.9%	
	20代	101	12.5%	20代	112	14.6%	
	30代	173	21.4%	30代	147	19.2%	
	40代	268	33.2%	40代	240	31.3%	
	50代	167	20.7%	50代	175	22.8%	
	60代	78	9.7%	60代	75	9.8%	
	70代	17	2.1%	70代	10	1.3%	
雇用形態 (不明除く)	正社員	495	53.1%	正社員	508	50.9%	
	パート	160	17.1%	パート	174	17.4%	
	アルバイト	53	5.7%	アルバイト	67	6.7%	
	派遣社員	63	6.8%	派遣社員	60	6.0%	
	契約社員	93	10.0%	契約社員	100	10.0%	
	嘱託社員	9	1.0%	嘱託社員	6	0.6%	
	臨時・非常勤職員	7	0.8%	臨時・非常勤職員	10	1.0%	
	その他	53	5.7%	その他	73	7.3%	
業種(上位) (不明除く)	1位	サービス業(他に分類されないもの)	144	20.2%	サービス業(他に分類されないもの)	128	17.3%
	2位	医療・福祉	129	18.1%	医療・福祉	120	16.2%
	3位	製造業	122	17.1%	製造業	117	15.8%
	4位	卸売・小売業	79	11.1%	卸売・小売業	97	13.1%
	5位	運輸業	51	7.2%	運輸業	68	9.2%
相談内容(上位) (未報告除く)	1位	セクハラ・パワハラ・嫌がらせ	147	14.5%	セクハラ・パワハラ・嫌がらせ	144	13.8%
	2位	解雇・退職強要・契約打切	98	9.6%	解雇・退職強要・契約打切	109	10.5%
	3位	雇用契約・就業規則	86	8.4%	雇用契約・就業規則	107	10.3%
	4位	退職金・退職手続	63	6.2%	退職金・退職手続	71	6.8%
	5位	年次有給休暇	54	5.3%	年次有給休暇	59	5.7%
情報源・ルート (不明除く)	新聞・雑誌	34	4.0%	/			
	ラジオ・テレビ	14	1.6%				
	ビラ・チラシ・パンフ(含折込)	97	11.3%				
	ホームページ	444	51.8%				
	SNS(フェイスブック・ツイッター)	19	2.2%				
	紹介(労基署等)	44	5.1%				
	その他	205	23.9%				